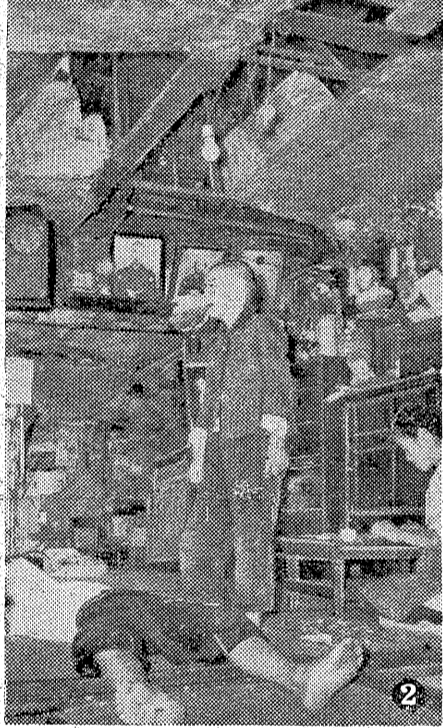
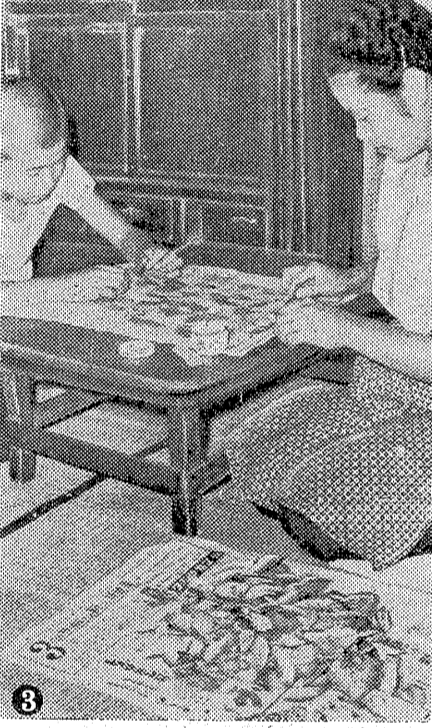
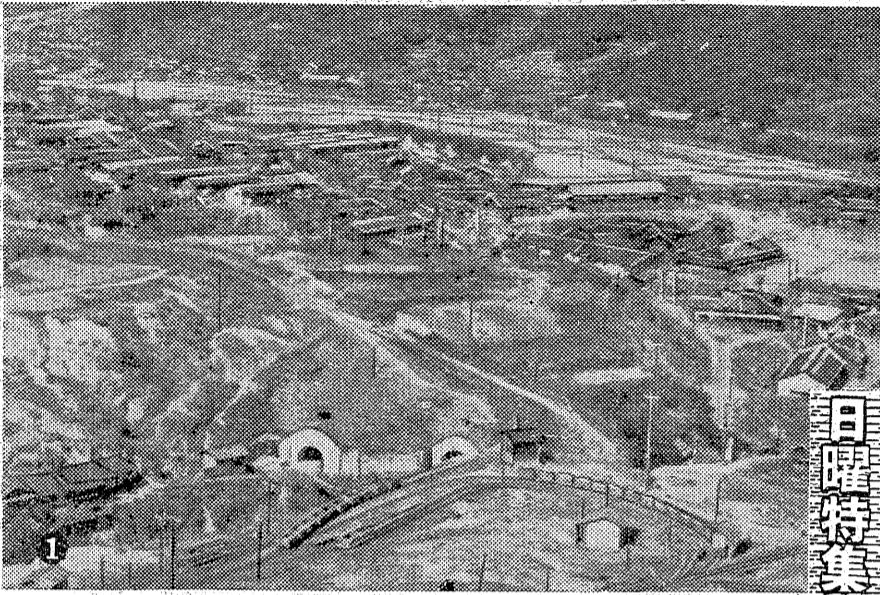


# ツヤの消えた黒ダイヤ 小田炭鉱カメラ・ルポ



日曜特集

## 日刊 いわき民報

発行所 平市町6-3  
いわき民報社  
社長 野沢武蔵  
電話(代表) 4161番  
© いわき民報社 1959

通学服  
小学生から  
大学生まで  
各種豊富取揃え  
会員の店  
**ホカヤ**

●斜陽産業といわれている石炭産業は手替に安く使われる重油の進出にははたして耐えられぬ。山元は貯炭のヤを抱え、いまや日没産業といわれるほど。このため金炭の産量減少を待たずして、企業整理問題を含めて、つ小田炭鉱は戦後の二十二年の

●開山以来六十三年の歴史を持つ小田炭鉱は戦後の二十二年の歴史からは従業者千二百名、坑口四つ、出炭一万吨を誇る有力炭鉱だったが、浮き沈みの連続で従業者は減る一方。今年六月には従業者四百六十名に減り、坑口も閉坑一つだけとなった。それに昨年来の石炭不況でますます苦境に追い込まれ、現在の出炭率一人当たり七

### 写真説明

- 開山以前は小田炭鉱
- ヤの不法な搬送やヤの炭住内部の生活の様子
- 家計の助けに運賃に「肝煎り」を課せられる
- 夫対、日雇、補助などに出張の公費負担してせめて家事に専られる主婦
- ヤを産出する人々の生活の様子
- 石炭を採る主婦の姿
- ヤを産出する人々の生活の様子

●「昔は運賃に課せられたヤは主人の給料にまわると土方や内職をして生計を立てる人も多かったが、今は一人もいなくなっている。子供を養育している者は会社側の人数を減らすだけ、それ以外にどうもまた体面を日雇には採れない。生計を立てる人々で、山は遠く、生計を立てるための苦闘を毎日繰り返している。坑口の世話屋は働く主婦の苦闘を聞きながら、涙を流して聞いている。

**三色最中**  
松月といえば最中 最中といえば松月と広くお引立を戴いております。「三色最中」は文字通り三種のアンがつめわけられており 御贈答にお茶うけに重宝がられております  
(一コ10円 折100円から) 料  
平餅本舗  
**松月堂**  
平市銀座街 電話2206・4206  
支店 磐城市定西 電話974

いつも変らぬ  
**神戸牛**  
(配達迅速)  
神戸・鎌倉特約店  
肉のデパート  
**緑屋**  
本店 平市一丁目 電話2539  
支店 平市中央通 電話2794

**うまいお食事**  
◇モーニング・サービス (前9時-30分-前12時)  
◇トースト付 ¥40円  
◇ランチ・サービス (前12時-後3時) ¥50円  
◇デザート付 ¥150円  
(スープ、コーヒー、デザート付)  
出前迅速  
**味の家**  
電話三八〇二

ご家庭で便利な...  
一リットル詰(五合五勺)  
新発売!  
一本 二八五円  
郷土の誇り  
**清酒 白馬の雪**  
平市辰ノ口  
白馬の雪酒造株式会社





